



鞆の浦学園だより



No.15
2021年(令和3年)11月10日

見えないもの・見えないことに気づき、それを見ようとする!

昨日、修学旅行から6年生が元気に帰ってきました。

たくさんのお土産話ができただけでしょう。

今月は、部活動新人戦、修学旅行(6年・8年)、宿泊活動 English Camp(5年)等、たくさんの行事があります。学校では学べないことを学べます。

この月曜日、ある教室に次のメッセージが書かれていました。

おはようございます。

大会、出場した人も応援した人も、お疲れ様でした!何を得ましたか?

今後の成長のために、活かしていこう!負けたらダメ!できなかつたらダメ?

そんな訳あるか!頑張り切った。みんなが一番かっこいい。

「一生懸命頑張っているといろんな人がいろんなチャンスをくれます。

一生懸命頑張らない人には何もチャンスは来ません。」有森裕子

学年が大きくなると、新人戦のように他校の生徒と対戦することがあります。また、他校の作品や発表を見たり聞いたりする機会もあります。こうした機会は貴重です。驚き、喜び、悔しさ、楽しさなど、いっぱい経験することは成長には欠かせません。

ところで、1年生が人権標語をつくっていました。いくつか紹介します。

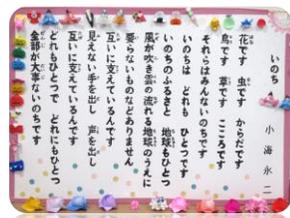
「じぶんのきもちを ことばにして つたえよう」

「学校で みんなにあうと げんきがでるよ」

「ともだちは いまどんな気もちかなって かんがえる」

「こまったら ともだちに そうだんしよう」

「あいさつは した人もされた人も いいきもち」



自分の思いや考えを言葉で書き表すことは、本当に難しいものです。しかし、表現がうまいかという視点ばかりでなく、どんな気持ちが込められているかを大事に見ようとするのも大切です。

標語づくりは手段であり目的ではありません。標語づくりを通して、安心して友達と学び合うためには何が必要なのかを考えることが大切です。見えないもの・見えないことに気付く。そして、それを見ようとするのが、自らの世界を広げ、大きな成長につながるものだと思います。

絆、いつまでも! ~約半世紀にわたる親善交流~

福山市は、11月9日に愛知県岡崎市の親善友好都市提携50周年を迎えました。鞆小学校から鞆の浦学園に引き継がれた井田小学校との交流も49周年と、約半世紀にわたり両市の交流が続いています。昨年度からは、6年生がリモートでの交流を行うなど、今後の交流の在り方を検討しながら、これまで築いた絆を大切に繋いでいきます。

【当時の福山市と岡崎市の共通点】

- ・市制誕生日が同じ1961年(大正5年)年7月1日である。
- ・戦争復興の都市である。
- ・人口、面積がほぼ等しい
- ・徳川家康と、水野勝成とが従兄弟である。
- ・自然を保護し、緑を守り、明るい町づくりを目指している。



提携50周年を記念した展示(14日まで市役所ロビーにて)

「山の学校」井田小 987人 1972(昭和47)年8月姉妹校に! 「海の学校」鞆小 1000人



毎年8月には、6年生代表が岡崎市を訪問



毎年7月には、井田小学校6年生代表が鞆を訪問

1年生の「IDA TOMO なかよし えがお 大きくせん!!」



これまでの井田小交流のことを知った1年生。自分達にできる交流の方法を考え合いました。



鞆の海のことをたくさん伝えて井田小学校の1年生と仲良くなる取組を開始しました。

